

**第156回新生ふくしま復興推進本部会議
第52回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議
合同会議 議事録**

- 日時：令和7年12月26日（金）16：30～16：35
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催します。

早速、報告事項の1つ目「令和8年度政府予算案等」、2つ目「復興・再生のあゆみ」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1-1を御覧ください。本日閣議決定されました、令和8年度政府予算案等について、本県からの提案・要望の反映状況を報告いたします。

資料の左側が、本県からの提案・要望事項であり、右側は、政府予算の主な内容を対応させております。政府予算対策については、国に対しあらゆる機会を通じて、知事を先頭に、本県の実情を丁寧に説明してまいりました。その結果、避難地域の復興・再生、避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策の強化、地域産業の再生及び新産業の創出、インフラ等の環境整備などの関連予算が盛り込まれました。

そのほか、震災復興特別交付税措置の継続に加え、地方創生・人口減少対策の推進、防災・減災、国土強靭化の推進等に係る予算も確保されております。

次に、資料1-2を御覧ください。「福島イノベーション・コースト構想関連」についてです。改定した「産業発展の青写真」に基づいて、中長期的に目指していく姿を明確化したことに伴い、「地域の稼ぎ」に繋がる面的サプライチェーンの構築支援や、「日々の暮らし」を向上させるためのイノベーションの創出支援など、イノベ構想をさらに推し進めるために必要な予算やF-R-E-Iの取組に係る予算が計上されております。

また、税制改正大綱において、福島特措法に基づく、風評税制の延長及びイノベ税制の拡充・延長等が盛り込まれております。

第3期復興・創生期間の初年度となる令和8年度においても、国や市町村、関係機関等とも連携しながら、復興と地方創生を両輪で進めてまいります。

続いて、資料2－1の「復興・再生のあゆみ」を御覧ください。8月に発行したものをお見せします。

今回の表紙には、先月Jヴィレッジで開催されましたデフリンピックを取り上げております。Jヴィレッジには、国内外から多くの選手、関係者が訪れ、熱戦を繰り広げました。また、県内のこどもたちには、サインエールを事前に学習したり、会場でメッセージボードを作成するなどの準備をし、熱心に応援をいただきました。

大会期間中、県内の伝承施設や魅力を伝えるブースを設置するとともに、伝承館への無料のシャトルバスを運行し、多くの皆さんに、福島復興の姿を発信したところです。

なお、本資料の基礎資料となります資料2－2の「ふくしま復興のあゆみ」も併せて更新を行っております。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありますか。

知事からお願ひいたします。

【知事】

令和8年度の政府予算案や税制改正については、高市総理大臣を始めとする関係の方々に、本県の要望を踏まえた対応をしていただいた結果であると受け止めています。これは、各部局長を先頭に、全庁一丸となって、本県の実情を丁寧に説明し、予算確保に向けて粘り強く取り組んできた成果であります。

来年は、震災と原発事故から15年の節目を迎えます。復興・再生のあゆみにもあるとおり、福島の復興は、着実に前進する一方、原子力災害に伴う様々な課題がいまだ多くあり、本県の復興と地方創生は、今後も長く厳しい戦いが続きます。そのため、国に対しては、引き続き、国の社会的な責任の下、現場主義を徹底し、本県の復興に全力で取り組むよう強く訴えていかなければなりません。

令和8年度は第3期復興・創生期間の初年度となる重要な年であります。今後も、切れ目なく復興を前へと進めることができるよう、各部局長の皆さんにおいては、それぞれがリーダーシップを發揮し、しっかりと取り組んでください。

【鈴木副知事】

以上で会議を終了します。